



便が細く便秘気味・・・ どんな病気が考えられますか？



便通異常をきたす代表的な病気に**大腸がん**があります。大腸がんは直腸から結腸、盲腸（小腸の出口）までの範囲にできる悪性腫瘍です。良性のポリープ（イボのようなもの）が変化していき、悪性腫瘍になります。

ポリープのままだと症状はありませんが、進行していくと血便や、便秘と下痢を繰り返す排便異常、便柱狭小化（便が細くなる）などの症状がおきます。

女性のがんの中で大腸がんが最多

近年食生活の欧米化などから日本人の大腸がん件数は上がってきており、女性の場合はがんの中でも最多です。40歳を超えたら一度は大腸検査を受けてみましょう。おすすめは内視鏡検査です。

症状のある方、便潜血検査で陽性だった方はもちろん、ひっかからなくても一度は大腸を見ておきましょう。便潜血検査は精度が低く進行がんでも陽性結果の確率は80%程で、ポリープであればほぼ引っかかりません。検診や内視鏡検査による精密なチェックが必要です。

早期発見・早期治療が大切です

大腸がんでも早期に発見できた場合、内視鏡的切除で治癒が可能です。基本的に粘膜癌は内視鏡切除の適応です。粘膜の奥まで進んだ癌は外科手術の必要があります。

内視鏡的切除は体に負担も殆どなく、短期間の入院で後遺症なく治療できます。できるだけ早期の段階で発見することが大切です。

大腸がんの前がん病変である大腸ポリープは切除が推奨されています。

5mm以上のポリープは良性であっても前がん病変（がんになりえる病変）として取り除くことが推奨されています。大腸内視鏡検査をして大腸ポリープを発見し、内視鏡でとる治療はがんの予防になるのです。

ポリープの種類のおおきさによって治療方法が変化ります

大腸ポリープの内視鏡切除は、ポリープの形に応じて内視鏡センターで治療をします。

ポリープの種類	治療方法
小さなもの	輪っかを引っかけて切除する。出血リスクが非常に低いので日帰りで。
大きなもの、変わった形のもの、がんの疑いがあるもの	EMR...輪っかをかけてから電流を流し焼き切る。後から出血するリスクがあるので2日ほど入院して観察。
さらに大きなもの	ESD...専用ナイフで切り込みを入れ、少しずつはぎとる。5日ほど入院して観察。

麻酔で眠った状態で検査を受けることができます

市立大津市民病院では胃カメラも含め、沈静下での内視鏡検査を行っています。リカバリーベッドに専門の医師や専属看護師もいるので、検査に恐怖心や抵抗感を持っている人でも安心して受診できる環境が整っています。

また、私を含め、女性の内視鏡医が担当するので、女性の方でも安心して受診できます。

沈静下の内視鏡検査は胃カメラとセットでも1日で済むので、眠っている間に一度に済むのでおすすめです。

消化器内視鏡センターはインスタグラムもやっているのでも是非一度覗いてみてくださいね。



消化器内視鏡センター
Instagram



市立大津市民病院
内視鏡センター
センター長 全 圭夏



市立大津市民病院
Otsu City Hospital